

# みなべ・田辺の梅システム



薪炭林

薪炭林

梅林

「みなべ・田辺の梅システム」とは、養分に乏しい礫質の斜面を活用して薪炭林を残しつつ梅林を配置し、高品質な梅を持続的に生産してきた農業システムである。

人々は、里山の斜面を梅林として利用し、その周辺に薪炭林を残すことで水源涵養や崩落防止等の機能をもたせ、薪炭林に住むニホンミツバチと梅との共生、長い梅栽培の歴史の中で培われた遺伝子資源など、地域の資源を有効に活用して、梅を中心とした農業を行い、生活を支えてきた。

## 1. 食料及び生計の保障

- 暮らしを支える梅産業
  - ・就業人口の約70%が梅生産・関連産業に従事
  - ・生産、加工、観光等が連携、約700億円の梅産業
- 「紀州備長炭」を生み出す製炭業
- 水稻、野菜、柑橘など多様な農産物の生産

## 2. 生物多様性及び生態系機能

- 薪炭林、梅林、水辺環境により保持される生物多様性
- 梅とニホンミツバチの共生関係
- 農業の多様性
  - ・梅栽培の多様性
  - ・梅との複合経営品目としての多様な農産物

## 3. 知識システム及び適応技術

- 多様な遺伝子資源と優良品種育成
- 梅栽培の伝統技術
  - ・剪定、ミツバチ受粉等
- 地域で発展した梅干加工技術
- 独特の薪炭林管理技術「択伐」

## 4. 文化・価値観及び社会組織

- 梅に関連した祭事・行事
- 梅の伝統的食文化
- 梅に育まれた地域の「絆」

## 5. 優れた景観及び土地と水資源管理の特徴

- 季節により変化する梅林景観
- 薪炭林と梅林による急峻な地形の利用
  - ・薪炭林の水源涵養、防災機能
  - ・梅林での草生栽培による表土の保護等
- 「択伐」による独特の薪炭林管理

